



浅沼 孝紀
(山形十中出身)

「集中力と時間の使い方」

日本大学 法学部 政治経済学科 合格

私は毎日の授業の時間を大事にしています。なかなか勉強するまとまった時間がとれなくても、授業は全員に与えられている時間なので誰でも学習することができます。自主的に勉強することも大切ですが、普段の授業をいかに大切に集中して受けているかが大事だと実感しています。私自身、疲れているときや眠くなることも多々ありましたが、妥協せずに取り組んできました。そのようなことに耐えることで、忍耐力など学力以外の面も鍛えられ、部活動にも良い影響をもたらしてくれたと感じています。高校生活の今の時期にしかできないことなので、部活動と学業の両立と自分の大きな夢、目標の達成に向けて精一杯励んで下さい。応援しています。



都市由希野
(新庄中出身)

「早めの進路設定と諦めない気持ちが合格へのカギ」

日本大学 芸術学部 演劇学科 演技コース 合格

私は通学時間が長いので、学校に通いながら勉強と演技を両立させるのは大変でしたが、高校入学時からの目標である日芸に入りたいという気持ちが強かったため、辛くても頑張ることができました。どれだけ志望校への気持ちを強く持つかが、モチベーションを維持するポイントだと思います。皆さんも受験に対して不安などがあると思いますが、受験は自分を成長させてくれる試練のようなものだと思うので、弱気にならずに頑張ってください。



田高 裕久
(宮内中出身)

「後から楽するために」

日本大学 理工学部 土木工学科 合格

高校生活を振り返ってみると、学校生活のほとんどを部活動に打ち込んでいた毎日でした。家庭学習の時間がなかなか確保できませんでしたが、追試や補習、課題未提出にならないように、勉強も必死になってやりました。そのおかげで大学に合格するまでスムーズにいきました。後から楽するためにも、今すべきこと、そのために我慢しなければならないことをしっかりと見極めて高校生活を充実させてください。自分の目標に向かって頑張れ！



推名 千春
(歳王一中出身)

「継続は力なり」

日本大学 生物資源科学部 獣医学科 合格

小さい頃から将来は獣医師になりたいという夢があったので志望しました。勉強については、日頃の授業や家庭での学習を怠らなくきちんとする、当たり前のことをコツコツと積み重ねていくことで、基礎が定着し、テストに対応できる力がついてくるはずですよ。とにかく、諦めずに継続していくのみです。最後に、3年間ご指導して下さった先生方、辛いとき励ましてくれた友達、お世話になった家族には本当に感謝しています。ありがとうございました。



佐々木真子
(山形六中出身)

「『夢が力』と実感した大学受験」

立教大学 異文化コミュニケーション学部
異文化コミュニケーション学科 合格

立教大学のアスリート推薦では、スポーツ実績と学業成績だけではなく、受験時に提出する志望理由書も重視されます。自分自身と深く向き合い、これまでの自分とこれからの自分について考え、何度も何度も書き直しをしながら、志望理由書を作成しました。大学合格はゴールではなく、私の新たなスタートであり、夢はまだまだこれから大きくなっていきます。みなさんも将来の自分の夢を見つけて、全力で夢に向かって頑張ってください。



エンズレン 絵実梨
(日大山形中出身)

「自分の可能性を信じて」

上智大学 総合グローバル学部 総合グローバル学科 合格

大学受験にあたって一番私の糧となったのは、大学に進学したいという強い意志を持って高校生活を送った事です。進路を明確に決めた頃から評定をとれるように定期テストを頑張り、推薦入試の出願基準を余裕で超えられるようにしました。最初は勉強ができなかった私でも高校2年からの努力で第一志望校に届く事ができました。高校から伸びる学力もあります。不安も感じるでしょうが、日々意識して努力を積み重ねれば必ず合格できるはずですよ。



柏倉 歩
(天童三中出身)

「最後まであきらめずに」

山形市立病院済生館高等看護学院 合格

私は最後の模試はあまりよくない成績でした。それでも看護師という夢は小さい頃から抱き続けた夢であったので、あきらめず逃げずにがんばり合格を勝ち取りました。これを読んだ人々には自分の決めた事に向かって逃げないでほしいです。逃げずにやり遂げることに意義があり、そうやって私たちは成長していくのだと思うので、夢を叶えるためがんばってください。



青山 高大
(山形七中出身)

「努力の成果」

自衛官曹候補生 内定

日本大学山形高校では、就職を目指す生徒に対して、公務員受験講座・職業講話を開講して指導してくれます。私もそれを受講し、受験の準備をしました。最近の就職事情は厳しく、倍率も高い。受験の準備も大変でしたが、「やりたいことをやるためには、必死で努力しなければならない。」と頑張りました。

これは、進学・就職に関係なく、何事にも必要なことだと思います。行きたい進路に進めるよう、皆さんも頑張ってください。応援しています。

2014

新しい未来をきざす



日本大学山形高等学校

自主創造

教育方針

- ◆ 豊かな情操と信愛の心に満ちた品性ある人格を養う。
- ◆ 自ら真剣に学習し、知識を高め、深い教養を身につけるよう努める。
- ◆ 心身を鍛錬し、いかなる試練にも耐え得る強い精神力と身体を養う。

新しい未来をきざす

未来へともに歩もう



校長 中村 薫

本校は昭和33年、山形学園山形第一高等学校として創設され、昭和37年に日本大学の附属高等学校となりました。以来半世紀余の歳月を重ね、平成25年度卒業生を含め35,962名の優秀な卒業生を輩出し、ゆるぎない「日大山形の伝統」を築き上げてきました。また、本校の教育指針も、日本大学の教育の理念と目的である「自主創造」のもと、知育・徳育・体育の調和のとれた全人教育を実践してまいります。厳しい時代や困難に負けず希望と勇気をもって歩み続けられる生徒の育成をめざし、次なる歴史を築き上げて参ります。

先輩方からのメッセージ



吉川美由紀
(TAAS(台北)出身)

「基礎の積み重ね」

大阪大学 基礎工学部 電子物理科学科 合格

学校の授業や、課題などの日々の勉強をきちんとこなして、それを積み重ねていくことで、自分が集中しやすい勉強法を見つけることが大事だと感じました。その際、食事や睡眠をしっかりとって、体調管理を怠らないようにすることも大事です。休憩や気分転換を利用すれば、集中力を持続させられるので、より効率的に勉強ができると思います。他にも、自分の自信につながるので、得意教科を伸ばすことも重要です。



小関健太郎
(中山中出身)

「当たり前のこと」

北海道大学 総合入試理系 合格

私はなにも特別なことはしていない。当たり前のことを当たり前に行う、それが志望校合格への一番の近道だ。まず、授業はできる限りまじめに聞くこと。問題集は細かなところまで何回も繰り返して解けば、難関大学の受験にも対応できるだけの力がついてくる。休む時は徹底的にリラックスする。そうすれば集中して勉強することができる。勉強のやり方は十人十色なので自分に合った勉強法を早く見つけられれば志望校を母校にできる。

